

土地改良事業 変更 計画概要書

県営土地改良事業（中山間地域総合整備事業 建部地区）
ほ場整備 吉田工区

土地改良事業計画概要書

県営土地改良事業（中山間地域総合整備事業 建部地区）
ほ場整備 吉田工区

上段（赤）：変更前

下段（黒）：変更後

第1章 目 的

本地区は、農地が不整形かつ小区画であり、道路や水路が狭く、個々の農地条件が不均質であり、大型機械の利用や農地の利用集積に適しておらず、農業生産性が低い状況となっている。また、耕作放棄地の増加も懸念されている。

このため、ほ場整備により区画整理や用排水路や農道の整備を行い、農業生産性の向上と農地の利用集積を図り、営農意欲の向上や後継者の育成、農地の荒廃防止を推進する。

第2章 地 域 の 所 在 及 び 現 況

第1節 地 域

岡山市北区建部町吉田地内

第2節 地目及び地積

（単位：ha）

	田	畑	その他	計
現況	21.2 22.7	4.2 3.4	3.2 2.9	28.6 29.0
計画	21.2 20.9	2.6 3.0	4.8 5.1	28.6 29.0

第3節 現況

気 象

平成27年の平均気温＝14.0℃、降水量＝1,438.5mm、降水日数＝168日で気候は瀬戸内型気候に属し、温暖で比較的晴天日が多い。

土地状況

本地域は、（地形勾配）1/100程度の地形勾配であり、土壌は砂土型（54灰色土壌）である。

第3章 基本計画

第1節 要 旨

ほ場整備により区画整理や用排水路や農道の整備を行い、農業生産性の向上と農地の利用集積を図り、営農意欲の向上や後継者の育成、農地の荒廃防止を推進する。

第2節 事 業 名

中山間地域総合整備事業

第3節 工種・数量

23.8
整地工 23.9 ha 用水工 5.1 km
排水工 2.6 km 道路工 2.1 km

第4節 環境との調和への配慮

本地区は、岡山市田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられており、工事に際しては騒音・振動を極力抑え、周辺環境並びに地域住民の住環境に配慮し、工事期間中における水質汚濁等の影響を最小限にする。また、希少動植物が発見された場合は、その時点で保全方法について関係機関と協議する。

第4章 工事及び管理の要領

施工年度は、平成30年度着手、令和7年度完了見込みである。工事については、岡山県が施工し、工事完了後は岡山市が岡山県から譲与を受けて管理を行い、受益者によって日常の維持管理を行う。

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

現況は、農地の区画形状が不整形で分散しており、道水路等も未整備のため効率的な営農が困難な状況にある。このため区画整理を行って農地の集団化を図り、大型機械搬入可能な道路と用排水路網の整備により、農地の汎用化と低コスト化を図る。

第2節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、土地改良事業計画認可の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補または土地家屋調査士の測量した実測図及び近隣所有者の同意書を添付して申し出のあった場合には、その申し出のあった地積とする。

2 農用地集団化の方針

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置選択	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い
吉田工区	該当なし	換地は各人の従前の土地がもっとも密集した位置を中心に定める。	2	畦畔は、配分面積に応じて定める。畦畔の設定に当たり、短辺が10m以下となるような設定はしない。

4 清算の方法

土地の評価方法
標準地からの増減点方式

土地の清算方法
比例地積清算方式

5 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認にかかる地積 (㎡)

区分	公用公共用地			一般国有地	合計
	国有地	県有地	市有地		
道路	206.81 191.81		11,043.39 21,817.39		11,250.20 22,009.20
水路			2,162.33 7,763.33		2,162.33 7,763.33
堤	272.00		263.00 936.00		535.00 1,208.00
雑種地			—		—
所有別計	478.81 463.81		13,468.72 30,516.72		13,947.53 30,980.53

6 換地処分 of 時期に関する特則

地区全部について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2により準用する同法54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする。

第6章 費用の概算

総事業費 557,759
533,600 千円

第7章 効 用

区分 \ 項目	年総効果 (便益) 額 (千円)	年増加農業 所得額 (千円)	現況年総 農業所得額 (千円)	
作物生産効果	12,706 18,597	3,166 3,383	— —	
品質向上効果	— —	— —	— —	
営農経費節減効果	22,658 22,817	24,259 24,354	— —	
維持管理費節減効果	△ 1,137 △ 1,278	477 511	— —	
災害防止効果	— —	— —	— —	
国産農産物安定供給効果	2,384 3,116	— —	— —	
計	36,611 43,252	27,902 28,248	17,600 19,916	

総費用 788,291
 968,971 千円
総便益 860,478
 1,118,781 千円
総費用総便益比 1.09
 1.15

第8章 他の事業との関係

該当なし

第9章 計画概要図

別紙のとおり

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準書

ほ1(吉田)

1.事業費の負担区分の予定額

(1) 総事業費	(工事費及び事務費を含む)	557,759
		533,600 千円
工事費(工事雑費を除く)		526,301
		502,787 千円
工事雑費		4,900
		5,466 千円
事務費		26,558
		25,347 千円

(2) 事業費の負担区分

単位:千円

		工事費			事務費	合計
		工事費 (工事雑費を除く)	工事雑費	計		
国庫補助金		289,465 276,533 55.0%	— 0%	289,465 276,533 54.5% 54.4%	— 0%	289,465 276,533 51.9%
県 費		157,891 150,836 30.0%	4,900 5,466 100%	162,791 156,302 30.6% 30.8%	26,558 25,347 100%	189,349 181,649 33.9% 34.0%
市 町 村 負 担 金 (91条6項)		26,315 25,139 5.0%	— 0%	26,315 25,139 5.0% 4.9%	— 0%	26,315 25,139 4.7%
農家 負担金	土地改良区 (91条4項)	— 0%	— 0%	— 0%	— 0%	— 0%
	市町村 (91条2項)	52,630 50,279 10%	— 0%	52,630 50,279 9.9%	— 0%	52,630 50,279 9.4%
計		526,301 502,787 100.0%	4,900 5,466 100.0%	531,201 508,253 100.0%	26,558 25,347 100.0%	557,759 533,600 100.0%

負担または徴収団体となる団体名

岡山市

土地改良事業の変更を必要とする事由書

○事業の目的

本地区は、農地が不整形かつ小区画であり、道路や水路が狭く、個々の農地条件が不均質であり、大型機械の利用や農地の利用集積に適しておらず、農業生産性が低い状況となっている。また、耕作放棄地の増加も懸念されている。

このため、ほ場整備により区画整理や用排水路や農道の整備を行い、農業生産性の向上と農地の利用集積を図り、営農意欲の向上や後継者の育成、農地の荒廃防止を推進するものである。

○変更を必要とする理由

事業実施において、受益地域における地区の編入や除外に伴う一定区域の変更があったため、事業計画の変更を行うものである。

変更事項

事業費

557,759千円 → 533,600千円
(533,600 - 557,759) 千円 / 557,759千円
= -4.33% < ±10%

受益地

28.6ha → 29.0ha
(29.0 - 28.6) ha / 28.6ha
= 1.40% < ±10%

OK

土地改良施設の予定管理方法

1) 予定管理者

岡山市

2) 管理すべき施設の種類

23.8

整地工 23.9 ha 用水工 5.1 km

排水工 2.6 km 道路工 2.1 km

3) 管理に関する基本的事項

水路・道路・・・岡山市が適正に点検・管理を行う。

その他・・・事業完了後において、受益者が適正な施設管理を行う。

4) 管理に要する費用の概算及び費用の負担方法

(1) 費用の概算

維持管理費

必要経費、その他必要が生じたときの必要額。

(2) 負担方法

受益者に対し、均等賦課とする。

又は、事業の完了後において適正な負担を行う。

5) その他管理方法に関する基本事項

その他施設の維持管理について必要が生じたときは、受益者相互に協議し決定する。

受益地域調書

中山間地域総合整備事業 建部地区 ほ場整備 吉田工区の施行によって受益する地域は、次のとおりである。

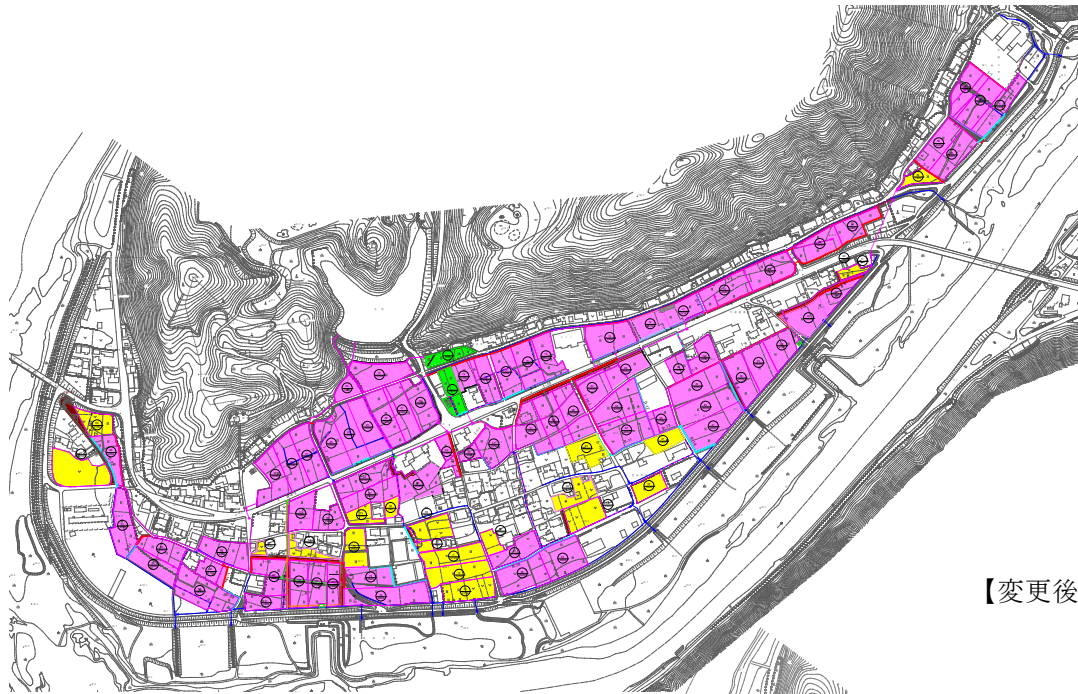
路線名	市町村	大字	受益地域	地目別地積 (ha)			
				田	畑	その他	計
用1 吉田	岡山市 北区	建部町 吉田	別紙による	21.2	2.6	4.8	28.6
		20.9		3.0	5.1	29.0	
計				21.2	2.6	4.8	28.6
				20.9	3.0	5.1	29.0

受益地の転用等に伴う措置
(補助金返還措置)

この土地改良事業の施工にかかる地域内の農地がこの事業の工事の完了の公告があった日(その公告において工事完了の日が示されたときはその示された日)の属する年度の翌年度(その年度が到来する以前に知事が年度を指定する場合にあっては当該指定に係る年度の初日)から起算して8年を経過しない間に農地以外に転用が行われる場合又は開田が行われた場合には、当該土地改良事業の施工に要した費用から地元負担金の総額を差し引いた額を、当該転用にかかる農地または当該開田にかかる農地の面積に応じて割り振って得られる額を基準として土地改良法第3条に規定する資格を有する者から徴収するものとする。

【変更前】

農業生産基盤整備事業
ほ場整備事業 吉田地区

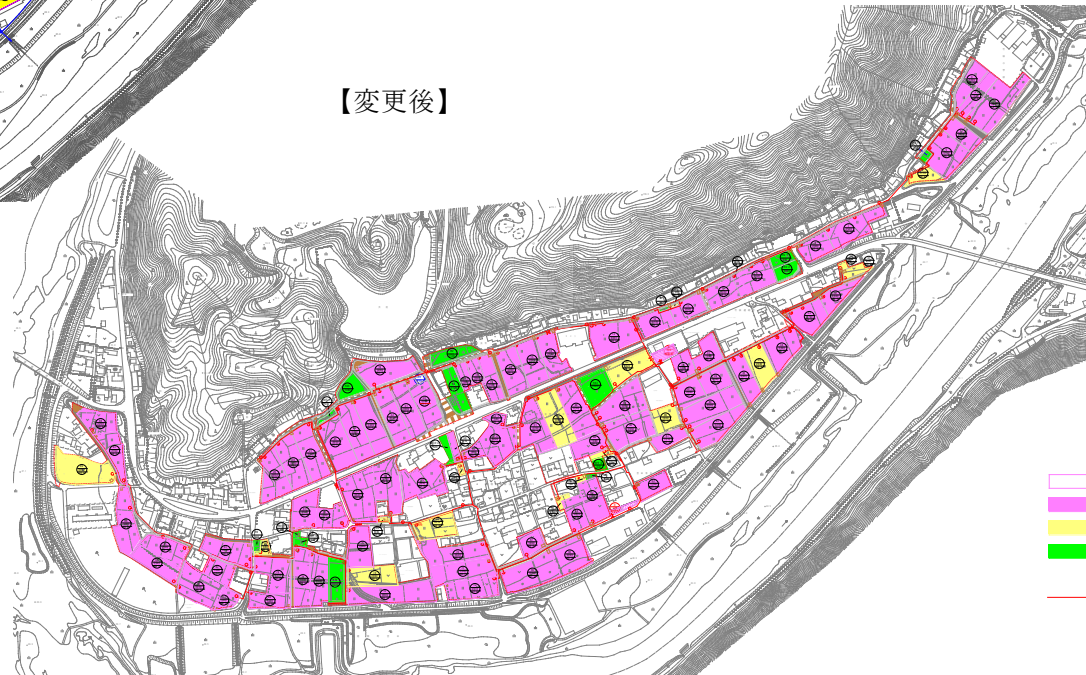


農業生産基盤整備		
ほ場整備		
吉田地区		
事業量	ほ場整備 A=23.8ha	ほ場整備 A=23.9ha
受益面積	23.8	23.9

受益面積 $\Sigma A=24.7ha$
計画ほ場 水田 A=20.4ha
計画ほ場 畑 A= 4.3ha
その他 A= 0.7ha

【変更後】

(工変)
用水路(開水路)をパイプライン化した。
工法変更による事業量の減及び事業費の増



受益面積 $\Sigma A=23.8ha$
計画ほ場 水田 A=21.2ha
計画ほ場 畑 A= 2.6ha
その他 A= 1.4ha
計画用水路 (パイプライン)

